

# 道の駅「瀧之拝太郎」特産品農産品販売施設整備事業 (和歌山県古座川町)



(写真左)特産品農産品販売施設

## 【施設のご紹介】

古座川町には町の観光シンボルである名勝「滝の拝(※)」があり、近年、滝の拝周辺でウォーキングを楽しむ観光客が増加しています。

近隣施設として、道の駅「瀧之拝太郎」(駐車場やトイレ等を設置)が整備されておりましたが、地域の特産品を販売する施設が併設されておらず、せっかくの観光客の方に古座川町の特産品をご紹介することができない状況でした。

このため、物産販売所を建設し、古座川町の豊かな山村資源を活用した地域・観光振興に取り組んでいます。

【総事業費:約15百万円、  
うち財政融資資金の貸付額:約11百万円(過疎債)】



「瀧之拝太郎」

## 【施設のPR】

名勝「滝の拝」に隣接しており、物産販売所「瀧之拝太郎の店」として土、日、祝日の11時から15時まで営業しております。

地元の特産品やゆるキャラ「瀧之拝太郎」のトランプなどが販売され、地元の人と観光客との交流の場として活用しています。

また、同じ敷地内には道の駅「瀧之拝太郎」、小川出張所、小川僻地診療所と集会所兼避難所となる小川総合センター、緊急時に利用できるヘリポートもあり、地域の生活交流、災害時の拠点となっています。

(利用人数:平成24年 約3,700人)

## 【※:滝の拝】

古座川の支流である小川に位置し、川床すべてが床岩で大小さまざまな奇形の岩穴(ポットホール)があり、中央には滝(落差約8メートル)があります。

ポットホールとは、河床などのくぼみに石が入り込み、水流により回転しながらくぼみ部分を削っていくことで円形の穴が出来たものです。

春の桜、夏には鮎の遡上、秋の紅葉と四季折々に様々な表情を見せる滝の拝を散策してみてもいいでしょう。



滝の拝  
和歌山県の名勝・天然記念物



特産品農産品販売施設

(写真提供:古座川町)